

沖 縄 農 業 雑 感

沖縄は台風と干ばつの島である。現在、沖縄農業はサトウキビとパインアップルで代表される。これも台風と干ばつに対する知恵と聞かされた。今年の冬、沖縄農業の一端をみる機会に恵まれたが、なるほどパインは風にも干ばつにも強いことを認めた。しかし背の高いサトウキビが耐風作物であるとの主張には、いまだ納得できないものがある。

沖縄のキビ作では株出し栽培 — 刈りあとからそのまま萌芽させ、1年後に刈り取る方法で、これを数年くり返す。省力でかつ干ばつに強い — が支配的になりつつある。毎年のように気象災害をくり返すこの島では、除草・施肥・病害虫防除をしても、それは全くの徒労に終るとの考え方が強い。そういうわけかどうか、株出し畑には雑草が多い。

「台風・干ばつ — 株出し栽培 — 雑草」これらがうまく結合して低収レベルのキビ作が成立しているように思われた。沖縄のキビの収量は外国の主産地に比べて $\frac{1}{2}$ にも達しない。現状の基盤整備と災害風土の下でこのような低位安定栽培が定着したのであろう。収量3倍の技術も試験場にはすでにあるという。しかし災害・病害虫・雑草などの対策が同時に準備されなければ普及しそうにない。

復帰後の沖縄農業発展のための提言は多い。しかし実態を知らない本土専門家の思い付き提言は、徒らに混乱を強いることになりかねない。歯車の1つ2つの取替えではすまされないものがあるようである。台風対策にしても、雑草対策にしても、その面だけの改善策は無意味であらう。(農林省農事試験場作物部長 坪井八十二)

目 次

韓国管見(2)

ナショナルリズム	2
教育熱心	3
ソウル—釜山高速道路	4
民のころろ	6
民の楽しみと悲しみ	7
韓国の研究者	8
農林省園芸試験場そ菜部長 西貞夫	

千葉県における水田多年生雑草

1. マツバイ	10
2. ミズガヤツリ	11
3. クログワイ	12
4. ヒルムシロ	13
5. ウリカワ	13

千葉県農業試験場 山岸 淳

水田の多年生雑草発生面積	14
--------------------	----

昭和46年度リンゴ関係生育調節剤

試験成績概要

1. 果面被膜剤	15
① MOR-104	15
② シオノックス	15
③ YPC	16
④ クレフノンES	16
2. 着色・熟期促進剤(エスレル)	16
3. 矮化剤	16
① B-ナイン80	16
② F-2	17

農林省園芸試験場盛岡支場 久保田貞三

新登録除草剤一覧	17
新登録生育調節剤一覧	19
植調協会だより	20